



声かけしよう！あったか子育て

—妊産婦や子どもの成長を見守り、親子を孤立させない地域づくり—

問い合わせ
健康政策課
☎ 64-9023
FAX 64-7172

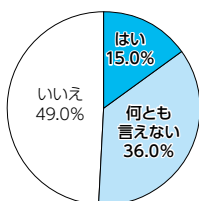
母親を取り巻く状況

「健康ふじ21アクションプラン後期計画」では、4つの取り組みを重点的に進めています。今回は、その中の1つ「声かけしよう！あったか子育て」の取り組みについて紹介します。

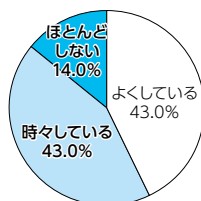
アンケートでは、「子育てに自信が持てない」、「何とも言えない」と答えた母親が過半数を占めました。また、「父親が積極的に育児をしている」と答えた母親は43%でした。

核家族化、家族機能の低下、地域のつながりの希薄化などにより、育児不安や負担感を抱えながら、誰にも相談できず孤立して子育てしている母親がふえています。

また、現代の母親を取り巻く背景には、下記のようなさまざまな状況があります。



◀お父さんは積極的に育児をしていますか？ (出典: 健やか親子21アンケート)



育児不安を抱える養育者への支援の充実を

社会参加などを通じて、人のつながりが多い人は健康度が高いと言われています。子育て中の母親にとっても、これは例外ではありません。富士市では、人とのつながりを大切に子育て支援の取り組みを始めています。



市民の健康状況の改善のために

市では「健康で笑顔あふれる明るい富士市」を目指して、「健康ふじ21アクションプラン後期計画」を策定し、市民の健康づくりを進めています。取り組む必要があると考えた「6つの分野」の中で、特に②⑤の4つを重点取組としています。

- ① 「元氣なまちづくり」の分野
- ② 「こころ」の分野
声かけしよう！あったか子育て
- ③ 「健康診断」の分野
受けよう！検診使おう！
受診券
- ④ 「運動」の分野
今より動こう！あと10分
- ⑤ 「食生活」の分野
食べよう！野菜あと二皿
- ⑥ 「歯」の分野

この4つの重点取組を、ふじさん青春度指数・ふじさん青春マイレージを活用しながら進めることで、市民の健康状況を改善するとともに、お達者度の延伸も図っていきます。

身近な地域で親同士の交流を支援

地域で安心して子育てをし
ていくためには、自分が住む
地域に、気軽に子育ての話や
相談をできる人がいることが

大切です。そこで平成29年度
から、民生委員・児童委員、
主任児童委員と市が協働して
「プレパパママと先輩パパマ
マ交流事業」を開始しました。
平成29年度はモデル事業と
して天間地区で、平成30年度
は吉永、今泉、天間、富士南

の4地区で開催しました。平成
34年度までに全地区での開催を
目指しています。

プレパパママと先輩パパママ

交流事業とは

ねらい

① 同じ地域に住む親同士や民
生委員・児童委員、主任児童
委員と「顔の見える関係」
つながり」をつくり、地域
の中で気軽に子育ての話や

内容

相談ができる人を見つける
② 父親に「夫婦で協力して子
育てすることの大切さ」を
理解してもらう
妊婦とその夫の質問に子育て
中の夫婦が答えるグループワ
ーク、手遊び・絵本の読み聞
かせ、地域子育て支援センタ
ーや幼稚園・保育園などでの
子育て支援事業についての情
報提供など

子育て支援に関心を

市では、子育て支援に参加す
る市民をふやすため、平成28年
度から「子育てサポーター講座」
を開催しています。これまでに、
2364人（平成30年9月末現
在）が受講し、少しずつ現代の
子育て事情についての理解者が
ふえています。受講した人には、
富士市子育て
サポーター証
とバッジを配
付し、意識の
高揚を図って
います。



▲サポーター証とバッジ

市が母親を対象に実施したア
ンケートの中で「声をかけられ
てうれしかった言葉は？」と問
うと、「おはよう」、「お子さん
かわいいね」、「お母さん頑張っ
ているね」など、挨拶やねぎら
いなどのちょっとした声かけが
一番うれしいという声が多く聞
かれました。

富士市の「お達者度」が 公表されました

「お達者度」とは、県が
介護認定や死亡の情報など
の統計をもとに算出したも
ので、65歳から元気で自立
して暮らせる期間のことを
言います。

平成27年の県平均の「お
達者度」は、男性は18・11年、
女性21・25年となり、そ
れぞれ前年から、男性0・
3年、女性0・2年と男女
とも4年連続で前年より伸
びましたが、富士市は県内
35市町中
下位に位
置してい
ます。

	平成27年 お達者度	
	男性	女性
富士市	17.70年 (県内23位)	20.85年 (県内26位)
静岡県	18.11年	21.25年

(出典：静岡県「市町別お達者度」)

子育ては、親だけが担うものではなく、地域全体
で育てていくという意識と環境づくりが大切です。
誰もが安心して子育てができる地域にしていくな
めに、子育て中の親に関心をもち、挨拶や声かけを
してみませんか。



富士市主任児童委員部会
部会長
小林 和恵さん(天間)

安心して子どもを産み育てられるまちに

天間地区では民生委員・児童委員、主任児童
委員が中心となり、まちづくりセンターで毎月
「てんま子育てサロン」を、また、昨年「プレ
パパママと先輩パパママの情報交換会」を市
と協働で始めました。参加者からは「地域の人の
心の温かさや力を感じた」、「出産や子育てに
ついて具体的なことが聞けた」などの感想があ
りました。

9月に開催した2回目の「プレパパママと
先輩パパママの情報交換会」では、昨年プレパ
パママだった方が、ことしは先輩パパママとし
て参加し、地域のつながりが深まっています。

これからも、親が安心して子どもを産み育て
ることができ、子どもが健やかに育つ環境を築
くため、子育て支援の1つとして、この活動
を続けていきたいです。